

2021.9.30

2021年8月のスタートアップ雇用指数「WANTEX」は初の4ポイント台に
 2021年3月以来6ヶ月連続の上昇(前月比+0.44ポイント)
 デジタル人材 WANTEX でも過去最高値を更新
 職種別 WANTEX では初の6ポイント台をエンジニアリングが記録



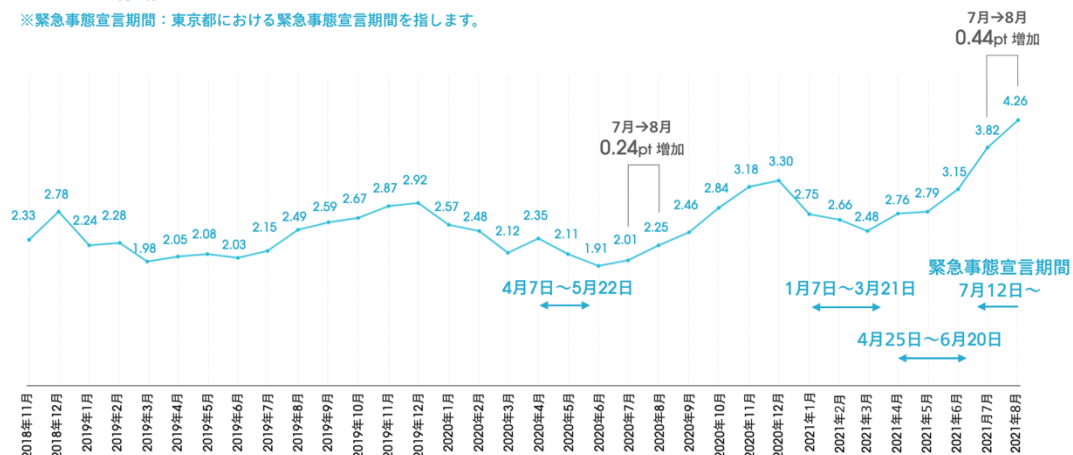
ビジネス SNS「Wantedly」を運営するウォンテッドリー株式会社は、2021年8月版のスタートアップ雇用指数「WANTEX」（Wantedly Job Market Index、読み：ウォンテックス）を公開しました。

7月から2ヶ月連続過去最高値を記録

WANTEX は東京都が1回目の緊急事態宣言を発出した2020年4月~5月から増加し続け、2020年12月には過去最高値を更新しました。しかし緊急事態宣言が再度発出された2021年1月からは下落が続き、2021年4月には4ヶ月ぶりに回復に転じました。7月度から8月度にかけての変動について昨年と今年を比較すると、2020年8月は0.24ポイント増であるのに対して、今年2021年8月は0.44ポイント増となりました。

WANTEX 推移

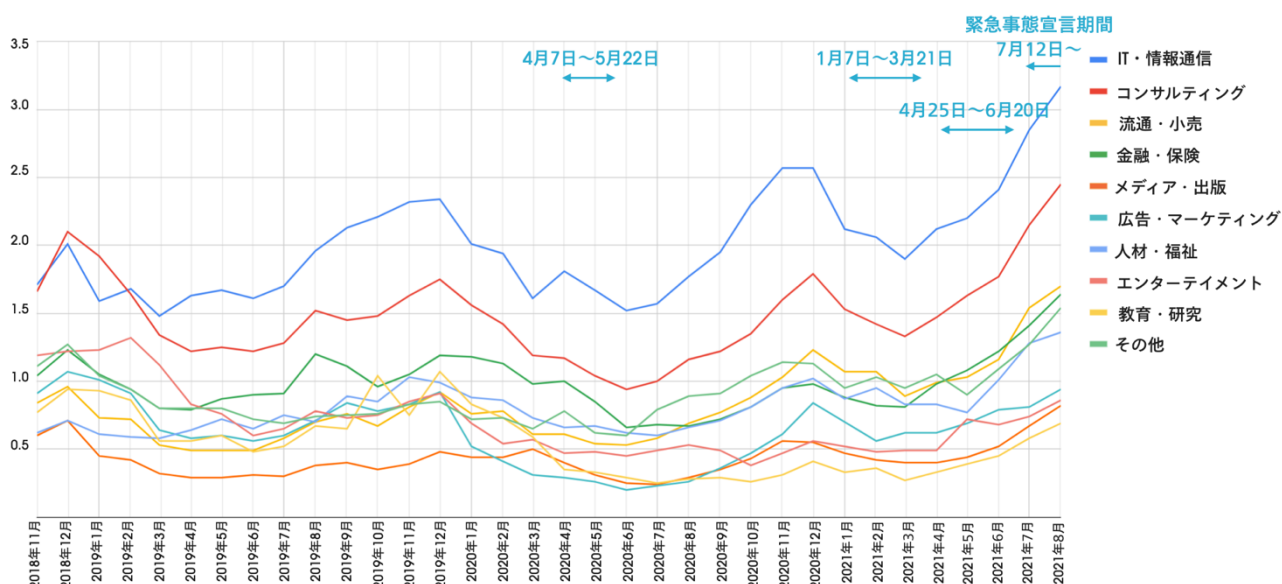
※緊急事態宣言期間：東京都における緊急事態宣言期間を指します。



業種別でも 7 業種で過去最高値を記録

業種別の WANTEX 推移を見ると、昨月から下落した業種はなく、すべての業種で増加し、広告・マーケティング、エンターテインメント、教育・研究以外の業種では過去最高値を更新しました。

業種別 WANTEX 推移



2021年8月時点の WANTEX の業種別ランキングは以下の通りでメディア・出版業界が対昨月比 122%と一番の伸びを見せました。WANTEX が 1 倍を割り込んでいる業種においては募集数に対して応募人数が超過しているため、該当業種のスタートアップ企業は採用しやすい状況にあると思われます。

表1：業種別 WANTEX ランキング (21/8月)

No.	業種	WANTEX	対昨月比
1	IT・情報通信 -	3.17	111%
2	コンサルティング -	2.45	114%
3	流通・小売 -	1.70	110%
4	金融・保険 -	1.64	116%
5	人材・福祉 -	1.36	106%
6	広告・マーケティング -	0.94	116%
7	エンターテインメント -	0.86	116%
8	メディア・出版 -	0.82	122%
9	教育・研究 -	0.69	119%

エンターテインメント業界が 151%と大幅伸長

表 1 より IT・情報通信業を除き、募集の対象職種をデジタル人材に絞った業界別 WANTEX を算出したところ、最も伸長したのはエンターテインメント業界で対前月比で 151%の伸びとなりました。またデジタル人材 WANTEX の最高値をコンサルティング業界が 2.68 ポイントで更新しました。

表2：業種別デジタル人材WANTEXランキング（21/8月）

No.	業種	WANTEX	対前月比
1	コンサルティング -	2.68	110%
2	金融・保険 -	2.12	102%
3	流通・小売 ↑	1.37	111%
4	人材・福祉 ↓	1.16	81%
5	エンターテインメント ↑	1.12	151%
6	メディア・出版 ↓	1.10	122%
7	広告・マーケティング ↑	0.68	96%
8	教育・研究 ↓	0.40	51%

※デジタル人材定義：「エンジニアリング」「PM・Web ディレクション」「デザイン・アート」の 3 職種で Wantedly に登録している人を指します。

上位 3 位は 3 ヶ月連続で宮崎県、大阪府、京都府がランクイン

東京都を除いた 46 道府県における WANTEX に着目すると、最も大きく伸長したのは埼玉県の前月比 162%でした。また宮崎県、大阪府、京都府については上位 3 位を 3 ヶ月キープしています。

表3：道府県別WANTEXランキング（21/8月）

No.	道府県	WANTEX	対前月比
1	宮崎県 -	2.49	69%
2	大阪府 -	1.98	111%
3	京都府 ↓	1.93	108%
4	神奈川県 -	1.62	122%
5	埼玉県 ↑	1.51	162%
6	愛知県 ↑	1.35	138%
7	北海道 ↓	1.07	91%
8	福岡県 ↓	0.91	86%
9	宮城県 -	0.51	88%

※非首都圏地域の WANTEX：該当する道府県を所在地として登録しているスタートアップ企業の掲載募集数を、それに対する応募者数で割り込んだ数を指します。

職種別では2ヶ月連続全職種で対昨月比で増加

2021年8月時点の職種別WANTEDXに着目すると、全職種で対昨月比で増加となり、エンジニアリングで初の6ポイント台を記録しました。

表4：職種別WANTEDXランキング（21/8月）

No.	職種	WANTEDX	対昨月比
1	エンジニアリング -	6.63	115%
2	セールス・事業開発 -	3.89	115%
3	メディカル系 -	2.60	105%
4	PM・Webディレクション ↑	2.47	109%
5	コーポレート系 ↓	2.45	103%
6	コンサルティング -	2.30	105%
7	カスタマーサクセス -	2.09	106%
8	デザイン・アート -	1.86	106%
9	マーケティング・PR -	1.72	116%
10	編集・ライティング -	1.00	114%

スタートアップ雇用指数「WANTEDX」について

■ スタートアップ雇用指数「WANTEDX」の定義

【算出式】「WANTEDX」 = (スタートアップ企業が掲載している公開状態にある) 募集数 ÷ (スタートアップ企業への) 応募者数

※スタートアップ雇用指数は上記式の各項を月次で合算して算出しています。

※ 募集数、応募者数ともに、Wantedlyで公開された募集、応募した登録者を算出対象としています。

※ スタートアップ企業は算出月から創業10年以内の企業を指します。

■ WANTEDX 公開の背景

Wantedlyはスタートアップ企業とともに成長し、2020年の情報・通信業に分類されるマザーズ上場企業のうち、約7割にご利用いただくに至りました。世界的には米国、中国を中心にスタートアップ経済が活況を示す中、未来の日本の産業を創る新興企業のトレンドを可視化することで、私達は/当社は日本のスタートアップ経済をより一層盛り上げていきたいと考えています。そのため、2020年11月よりスタートアップ経済の成長性を示唆する新たな先行指標として、スタートアップ雇用指数「WANTEDX」の公開を開始いたしました。

ウォンテッドリーは、企業の潜在転職者への認知形成、共感を軸とした人と企業の出会いの創出を提供しながら、入社後の従業員の定着、活躍を支援するエンゲージメント事業を推進しております。スタートアップ雇用指数「WANTEX」の公開を通じて、未来の日本の産業を創るスタートアップシーンの盛り上がりを加速させることで、Wantedlyが「はたらくすべての人のインフラ」となる世界の実現を加速させてまいります。

ウォンテッドリーについて

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドルひとをふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS「Wantedly」を提供しています。2012年2月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数 42,000 社、個人ユーザー数 300 万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

<会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社
URL : <https://www.wantedly.com>
本社所在地 : 東京都港区白金台 5-12-7 MG 白金台ビル 4F
代表取締役 : 仲 暁子
設立 : 2010年9月

事業概要 :

300 万人以上が利用するビジネス SNS「Wantedly」

- 気軽に会社訪問ができる Wantedly Visit
- 出会いを記録し活躍を共有する Wantedly People

ビジネス向け

- 採用マーケティング
- エンゲージメント Suite